

8 月度の市場動向について

長期投資家の皆さまへ

8 月はジャクソンホール会議という各国中央銀行の要人や経済学者らが集う有名なシンポジウムが開催されて、そこでのパウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長の発言が注目されていました。その衆目は米国の量的金融緩和縮小（テーパリング）に関する意思表示に集まったのですが、コロナ禍における米経済の回復力の速さと強さに基づき、テーパリングの開始時期を年内とすると共に、その後の金融引き締め（利上げ）への政策転換はリンクしないことが示唆されました。つまりはテーパリングに移行した後も暫くは金融政策を緩和的に維持して、実体経済の腰折れ懸念に充分配慮したスタンスを継続する旨と市場参加者は受け止めて、以降も米株式市場は史上最高値圏で安定し、グローバルに市場環境は低金利状況が維持されながら穏やかに推移しています。

やはり世界最大の経済規模と圧倒的スケールの金融市場を有する米国の動向によって、世界全体のマーケットは左右される傾向にあるわけで、この先の市場の関心は米国の金融政策、即ち金融を緩めた状況で実体景気をどこのレベルまで支え続けるのか？もう一つは利上げを行うタイミング、といったところでしょうか。

また米国ではウィズコロナの日常生活が定着に向かい、個人消費も旺盛になって、現状のインフレ率は高水準で推移しています。この先のインフレ動向如何で、コロナ前より割高になっていると見られている株価水準が大きく下方調整に動き出す可能性も想定しておくべきでしょう。

コロナ禍は人類にとり厳しい試練ですが、その克服や行動制約に対する新たな課題解決を目指すビジネスが、次なる経済成長を担う産業として形成されています。こうした逆境から長期投資の将来リターンの芽が醸成されて行くわけで、私たち長期投資家は足元の相場環境でなく、将来のより豊かで便利な社会の実現に向けて努力を続ける事業に専らフォーカスして、引き続きゆったりと進んでいきましょう。

代表取締役会長 CEO 中野 晴啓

今月の市場動向

世界の株式市場についての概況

世界の株式市場は、上昇しました。

序盤、中国の国営メディアがオンラインゲームをアヘンに例えて批判するなど、中国政府によるテクノロジー企業や教育関連企業への締め付けが懸念されたものの、米国や欧州で良好な企業決算が示されたことを受けて上昇しました。

中盤にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されたほか、米国で連邦準備制度理事会（FRB）による債券購入の段階的縮小（テーパリング）に対する懸念が高まったものの、米国や欧州で良好な企業決算や経済指標が示されたことを受けて上昇基調が継続しました。

中盤、新型コロナウイルスの感染拡大とそれに伴う景気回復ペースの鈍化への懸念が高まったほか、米連邦公開市場委員会（FOMC）議事要旨でテーパリングを年内に開始する可能性が示されたことを受けて下落しました。中国政府がテクノロジー企業への規制強化の姿勢を改めて示したことも下落要因となりました。

終盤、米ファイザーと独ビオンテックが共同開発した新型コロナウイルスワクチンを米当局が正式承認したことを受けてワクチン接種が加速するとの期待が高まったほか、パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長が年次シンポジウム（ジャクソンホール会合）で、年内にテーパリングを開始することが適切との考えを示したものの、その後の利上げ開始は急がないとの見解を示したことを受けて上昇しました。

8 月度の商品価格の動向

	終値	騰落率
NY 原油先物（WTI／直近限月）／1 バレル	68.50	-7.37%
NY 金先物（中心限月）／1 トロイオンス	1818.1	+0.05%

テレワークやリモート授業への対応が迫られたことにより、各国で PC やタブレットの需要が増加した結果、世界的に半導体不足が深刻化し、自動車などの生産に影響が出ています。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。



セゾン投信

8 月度の市場動向について

米国株式

米国の株式市場は、上昇しました。

序盤、クラリダ連邦準備制度理事会（FRB）副議長が 2023 年の利上げ開始見通しを示したことを受けて下落する局面はあったものの、堅調な企業決算が示されたほか、新規失業保険申請件数が減少したことや雇用統計の非農業部門雇用者数（NFP）が市場予想を上回ったことを受けて上昇しました。

中盤にかけて、アトランタ連銀のボスティック総裁が債券購入の段階的縮小（テーパリング）について言及し、金融緩和の縮小に対する懸念が高まったものの、7 月の消費者物価指数（CPI）でインフレの伸びの鈍化が示されたほか、新規失業保険申請件数が 3 週連続で低下したことなどを受けて上昇基調が継続しました。

中盤、新型コロナウイルスの感染拡大とそれに伴う景気回復ペースの鈍化への懸念が高まったほか、連邦公開市場委員会（FOMC）議事要旨でテーパリングを年内に開始する可能性が示されたことを受けて下落しました。

終盤、米ファイザーと独ビオンテックが共同開発した新型コロナウイルスワクチンを食品医薬品局（FDA）が正式承認したことを受けてワクチン接種が加速するとの期待が高まったほか、パウエル FRB 議長が年次シンポジウム（ジャクソンホール会合）で、年内にテーパリングを開始することが適切との考えを示したものの、その後の利上げ開始は急がないとの見解を示したことを受けて S&P500 やナスダックが最高値を更新するなど上昇しました。

8 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
ダウ・ジョーンズ工業株価平均（米ドル）	35360.73	+1.22%
S&P500（米ドル）	4522.68	+2.90%
ナスダック総合指数（米ドル）	15259.24	+4.00%

7 月の小売売上高は、半導体不足による在庫不足の影響を受けた自動車や衣料品などの売上が減少して、前月比-1.1%となったものの、飲食店の売上は 5 ヶ月連続で増加し、外食に対する消費者の底堅い需要が示されました。

欧州株式

欧州の株式市場は、上昇しました。

序盤、イギリスの石油大手 BP や、フランスの銀行大手ソシエテ・ジェネラル、デンマークの製薬大手ノボノルディスクなど幅広い業種で良好な決算が示されたことを受けて上昇しました。

中盤にかけて、ワクチン接種が安定的に進む中でコロナ関連の規制が緩和されたことなどを背景に英国の消費支出が改善したことが示されたほか、エネルギーや金融など景気に左右されやすいセクターでも良好な決算が示されたことを受けて上昇基調が継続しました。

中盤、新型コロナウイルスの感染拡大とそれに伴う景気回復ペースの鈍化への懸念が高まったほか、中国の経済指標が鈍化したことや習近平国家主席が貧富の差を是正する姿勢を示したことなどを受けて欧州の高級ブランド銘柄が下落し軟調に推移しました。

終盤、ユーロ圏の製造業とサービス業購買担当者景気指数（PMI）は前回の高水準から低下したものの、景気拡大基調は維持されたことを受けて底堅く推移しました。ドイツは、ドイツの IFO 企業景況感指数が低下したことを受けて上昇幅は限定的となりました。

8 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
独 DAX 指数（ユーロ）	15835.09	+1.87%
仏 CAC 指数（ユーロ）	6680.18	+1.02%
英 FT100 指数（英ポンド）	7119.70	+1.24%
スイス SMI 指数（スイスフラン）	12411.11	+2.43%
MSCI Europe 指数（ユーロ）	155.37	+1.72%

8 月のユーロ圏購買担当者景気指数（PMI）は、7 ヶ月ぶりに前月から低下したものの、需要の増加に対応するために引き続き企業の旺盛な採用意欲が確認されるなど、堅調さを維持しています。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。



セゾン投信

8 月度の市場動向について

販売用資料

2021.9.3

日本株式

国内の株式市場は、上昇しました。

序盤、米国でインフラ包括法案が上院可決に向けて前進したことが好感されたほか、ダイキン工業や日本郵船、ソニーなどが良好な決算を発表したことを受けて上昇しました。

中盤にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大への警戒が熾るなかでも、米上院が大規模なインフラ包括法案を可決したことなどが好感されて堅調に推移しました。

中盤、新型コロナウイルスの感染拡大とそれに伴う緊急事態宣言の延長や対象地域の拡大を受けて景気の先行きへの懸念が高まったほか、トヨタ自動車が新型コロナウイルスの感染拡大に伴う部品供給不足を理由に 9 月の生産を計画比で 4 割減らすと報道されたことを受けて下落しました。

終盤、米ファイザーと独ビオンテックが共同開発した新型コロナウイルスワクチンを米当局が正式承認したことを受けてワクチン接種が加速するとの期待が高まり、米国の株式市場が上昇した影響を受けて堅調に推移しました。

8 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
日経平均株価指数（円）	28089.54	+2.95%
TOPIX[東証株価指数]	1960.70	+3.14%
MSCI Japan 指数（円）	1200.82	+3.14%

4-6 月期国内総生産（GDP）は、2 四半期ぶりのプラス成長となりましたが、東京都や大阪府などで緊急事態宣言が発出されたことを受けて個人消費の伸びが力強さを欠いたことから、前期比年率で+1.3%と低い伸びに止まっています。

太平洋株式（日本を除く）

太平洋地域（日本を除く）の株式市場は、オーストラリアを除いて下落し、ほぼ横ばいとなりました。

序盤、下落していた香港が反発したほか、米国のフィンテック企業スクエアによるオーストラリアの後払い決済サービス企業アフターペイの買収などを受けて同社株や関連銘柄が上昇し、堅調に推移しました。

中盤にかけて、中国政府の規制強化への懸念から売られていたテクノロジー関連株を中心に香港が反発したほか、オーストラリアの金融大手コモンウェルス銀行などの好決算を背景にオーストラリアも堅調に推移し、上昇基調が継続しました。

中盤、新型コロナウイルスの感染拡大とそれに伴う景気回復ペースの鈍化への懸念が高まったほか、中国の経済指標が鈍化したことや中国政府がテクノロジー企業への規制強化を示唆したことを受けて下落しました。

終盤、下落したテクノロジー関連株の買い戻しなどを受けて香港が上昇したほか、鉄鉱石価格の持ち直しなどを背景にオーストラリアも底堅く推移し、上昇しました。

8 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
MSCI Pacific ex-Japan 指数（米ドル）	1527.42	+0.09%
S&P/ASX200 指数（豪ドル）	7534.900	+1.92%
香港ハンセン指数（香港ドル）	25878.99	-0.32%
シンガポール ST 指数（シンガポールドル）	3055.05	-3.53%

7 月の豪雇用統計では、失業率が 4.6%へ改善し 2008 年 12 月以来の低水準となりましたが、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐための制限措置の影響により求職活動が制限され、労働市場を離れる人が増えたことが一因とみられ、労働市場の先行きには不透明感が漂っています。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。



セゾン投信

8 月度の市場動向について

新興国株式

新興国の株式市場は、韓国やブラジルなどを除いて上昇しました。

序盤、前月末にかけて下落していた中国が反発し上昇しました。インドは、輸出の増加や堅調な製造業購買担当者景気指数（PMI）が示されたことを受けて上昇しました。一方、中国の国営メディアがオンラインゲームをアヘンに例えて批判するなど、中国政府によるテクノロジー企業や教育関連企業への締め付けへの懸念が中国の上値を抑える要因となりました。

中盤にかけて、中国の貿易統計が力強さを欠く結果となったものの、中国政府の景気支援策への期待が高まり中国は堅調に推移しました。一方、韓国で新型コロナウイルスの1日の感染者数が過去最多を更新するなど、新型コロナウイルスの感染拡大への警戒が高まったほか、米国で金融緩和の縮小に対する懸念が高まったことを受けて下落しました。

中盤、新型コロナウイルスの感染拡大とそれに伴う景気回復ペースの鈍化への懸念が高まったほか、中国で鉱工業生産などの経済指標が鈍化したことや中国政府がテクノロジー企業への規制強化を示唆したことを受けて下落しました。中国工業情報化省は、アリババやテンセントなどのアプリを含む43のアプリでユーザー情報の違法な転送があったとし、是正措置を命じたと発表しました。

終盤、中国で1日の国内の新型コロナウイルス新規感染者がゼロだったと発表されたほか、中国人民銀行（中央銀行）総裁が、与信を安定させ、実体経済と中小企業を支えると表明したことを受けて中国を中心に上昇しました。ロシアなどの資源産出国は、原油価格の反発などを受けて堅調に推移しました。

8 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
MSCI Emerging 指数（米ドル）	1308.67	+2.42%
ブラジルボベスパ指数（ブラジルリアル）	118781.0	-2.48%
中国上海総合指数（中国元）	3543.940	+4.31%
韓国総合株価指数（韓国ウォン）	3199.27	-0.10%
台湾加権指数（台湾ドル）	17490.29	+1.41%
ロシア RTS 指数（米ドル）	1684.16	+3.59%
S&P/BSE SENSEX 指数（インドルピー）	57552.39	+9.44%
南アフリカ全株指数（南アフリカランド）	67427.93	-2.24%

中国では、7月の鉱工業生産と小売売上高の前年同月比の伸びが共に6月から鈍化したほか、8月に新型コロナウイルスのデルタ株の感染拡大を封じ込めるための措置が講じられたことから、経済の拡大ペースの鈍化に対する懸念が高まっています。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。



セゾン投信

8 月度の市場動向について

世界の債券市場についての概況

米国の債券市場は、下落しました（金利は上昇）。新型コロナウイルスの感染拡大とそれに伴う景気回復ペースの鈍化への懸念が高まったものの、債券購入の段階的縮小（テーパリング）観測が高まったことを受けて下落しました。欧州の債券市場は、下落しました（金利は上昇）。新型コロナウイルスの感染拡大とそれに伴う景気回復ペースの鈍化への懸念が高まったものの、ユーロ圏の製造業とサービス業購買担当者景気指数（PMI）が景気拡大基調を維持したことなどを受けて下落しました。日本の債券市場は、下落しました（金利は上昇）。国内で新型コロナウイルスの感染拡大への懸念が継続したものの、米国や欧州の債券市場の下落を受けて軟調に推移しました。

米国債券市場（国債）

米国の債券市場は、下落しました（金利は上昇）。

序盤、ISM 製造業景況指数が 2 カ月連続で低下したことを受けて底堅く推移する局面はあったものの、新規失業保険申請件数が減少したことや雇用統計の非農業部門雇用者数（NFP）が市場予想を上回るなど、力強い労働市場の回復が示されたことを受けて下落しました。中盤にかけて、アトランタ連銀のボスティック総裁が債券購入の段階的縮小（テーパリング）について言及し、金融緩和の縮小に対する懸念が高まったことで下落したものの、その後、ミシガン大消費者信頼感指数が約 10 年ぶりの低水準となったことを受けて反発し、小幅に上昇しました。中盤、連邦公開市場委員会（FOMC）議事要旨でテーパリングを年内に開始する可能性が示されたものの、新型コロナウイルスの感染拡大とそれに伴う景気回復ペースの鈍化への懸念が高まったことを受けて上昇しました。終盤、米ファイザーと独ビオンテックが共同開発した新型コロナウイルスワクチンを米当局が正式承認したことを受けてワクチン接種が加速するとの期待が高まったことなどを受けてリスク選好の姿勢が優勢となり軟調に推移しました。

8 月度の長期金利の状況

	利回り	前月比
米 10 年国債	1.309%付近	+0.087%

欧州債券市場（国債）

ユーロ圏の債券市場は、下落しました（金利は上昇）。

序盤、良好な企業決算を受けて欧州の株式市場が上昇したものの、ユーロ圏の債券市場は米国の債券市場につれて堅調に推移しました。その後、米雇用統計の結果を受けた米国の債券市場の下落を受けて上昇幅を縮小しました。中盤にかけて、ドイツの ZEW 景気期待指数が前回から低下したことを受けて底堅く推移しました。中盤、各国の中央銀行が金融緩和を縮小するとの見方が燦々しているものの、新型コロナウイルスの感染拡大とそれに伴う景気回復ペースの鈍化への懸念が高まったことを受けて底堅く推移しました。終盤、ユーロ圏の製造業とサービス業購買担当者景気指数（PMI）は前回の高水準からは低下したものの、景気拡大基調は維持されたほか、デギンドス欧州中央銀行（ECB）副総裁が、ユーロ圏の経済成長予想を上方修正する可能性があることと述べたことを受けて下落しました。

8 月度の長期金利の状況

	利回り	前月比
独 10 年国債	-0.383%付近	+0.078%

日本債券市場（国債）

日本の債券市場は、下落しました（金利は上昇）。

国内で新型コロナウイルスの感染拡大への懸念が継続したものの、米国や欧州の債券市場の下落を受けて軟調に推移しました。

8 月度の長期金利の状況

	利回り	前月比
日 10 年国債	0.025%付近	+0.003%

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

8 月度の市場動向について

世界の為替市場についての概況

為替市場では、米国で債券購入の段階的縮小（テーパリング）観測が高まったことを受けて米長期金利が上昇し、ドルは堅調に推移しました。ユーロは、欧州中央銀行（ECB）が金融緩和政策を長期間維持する姿勢を示しているほか、ドイツの景況感指数が力強さを欠く結果となったことなどを背景に軟調に推移し、対ドルで下落しました。

円は、新型コロナウイルスの感染拡大やアフガニスタン情勢の悪化が上昇要因となったものの、米長期金利の上昇を受けて日米長期金利差が拡大したことを受けて対ドルで下落しました。

ドル・円

円はドルに対して下落し、円安ドル高となりました。

序盤、米 ISM 製造業景況指数が市場予想を下回ったことを受けて米長期金利が低下し、円高ドル安となる局面はあったものの、クラリダ米連邦準備制度理事会（FRB）副議長が 2023 年の利上げ開始見通しを示したほか、米雇用統計で堅調な非農業部門雇用者数（NFP）が示されたことを受けて米長期金利が反発し、円安ドル高の展開となりました。中盤にかけて、米アトランタ連銀のボスティック総裁が債券購入の段階的縮小（テーパリング）について言及し、金融緩和の縮小に対する懸念が高まったことで米長期金利が上昇し、日米金利差が拡大したことで円安ドル高となる局面はあったものの、米ミシガン大消費者信頼感指数が約 10 年ぶりの低水準となったことを受けて米長期金利が反落してドルが上昇幅を縮小したほか、リスク回避通貨の円は上昇し円高ドル安の展開となりました。中盤、新型コロナウイルスの感染拡大とそれに伴う景気回復ペースの鈍化への懸念のほか、アフガニスタン情勢の報道などを背景にリスク回避の姿勢が強まりドルや円が上昇しました。その中でドルが円よりやや強い展開となったことで円安ドル高の展開となりました。終盤、米ファイザーと独ビオンテックが共同開発した新型コロナウイルスワクチンを米当局が正式承認したことを受けてワクチン接種が加速するとの期待が高まったことなどを受けてリスク選好の姿勢が優勢となりドルや円が下落しました。その中で円はドル以上に下落し円安ドル高基調が継続しました。

ユーロ・円

円はユーロに対して上昇し、円高ユーロ安となりました。

序盤、クラリダ米連邦準備制度理事会（FRB）副議長が 2023 年の利上げ開始見通しを示したほか、米雇用統計で堅調な非農業部門雇用者数（NFP）が示されたことを受けて米長期金利が上昇し、ユーロが対ドルで下落したことを受けて円高ユーロ安の展開となりました。中盤にかけて、ドイツの ZEW 景気期待指数が前回から低下したことを受けてユーロが力強さを欠く展開となったほか、米ミシガン大消費者信頼感指数が約 10 年ぶりの低水準となったことを受けてリスク回避通貨の円が上昇し、円高ユーロ安基調が継続しました。中盤、アフガニスタン情勢の報道などを背景にリスク回避の姿勢が強まってドルや円が上昇したことを受けて円高ユーロ安が一段と進みました。終盤、ユーロ圏の製造業とサービス業購買担当者景気指数（PMI）は前回の高水準から低下したものの、景気拡大基調は維持されたことを受けてユーロが底堅く推移したほか、株式市場が上昇するなどリスク選好の姿勢が優勢となり、円が下落したことで円安ユーロ高の展開となりました。

8 月度の概況

	レート*	月間騰落率
円／ドル	110.02	+0.27%（円安）
円／ユーロ	129.92	-0.24%（円高）
ユーロ／ドル	1.1809	-0.51%（ユーロ安）

*レートは月末の米国東部標準時間 17 時のものです。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド 8 月度運用レポート

販売用資料
2021.9.3

「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」

運用概況（2021 年 8 月 31 日現在）

今月のマーケットと投資スタンス

【株式市場】景気の先行きに対する不透明感が強まっているものの、金融緩和の長期化観測を背景に落ち着いた動きが継続して上昇。

【債券市場】金融緩和の長期化観測は維持されているものの、米国で量的緩和の年内縮小開始観測が強まったことを受けて下落。

【為替市場】量的緩和の縮小観測の高まりを背景にドルが上昇し、ユーロが下落。円は底堅く推移し、対ドルで円安、対ユーロで円高。

【投資スタンス】今月は、積立などでのご購入により、皆さまからお預かりした資金を利用して、定められた投資比率に従って、株式ファンドと債券ファンドの購入を行いました。

ファンドマネジャーからの一言

今月は、債券に投資するファンドが全て下落したものの、株式に投資するファンドが全て上昇し、投資先ファンドが基準価額の上昇要因となりました。為替は、対ドルで円安、対ユーロで円高となり、基準価額の上昇要因となりました。結果、当ファンドの基準価額は上昇しました。当ファンドでは引き続き、将来への予測に依存することなく幅広く投資を行うことでリスクを分散しながら、皆さまの長期的な資産形成に資することができるよう努めてまいります。

※変動要因については、右側の図 1、図 2 もご参照ください。

※ファンドの基準価額は原則として米国株式は 1 営業日前、それ以外は 2 営業日前の市場の終値を反映しています。

運用部長 瀬下 哲雄

図1 8月度の投資先ファンド価格の変動による影響
※月末の投資比率に基づく概算値／投資先ファンド通貨建て

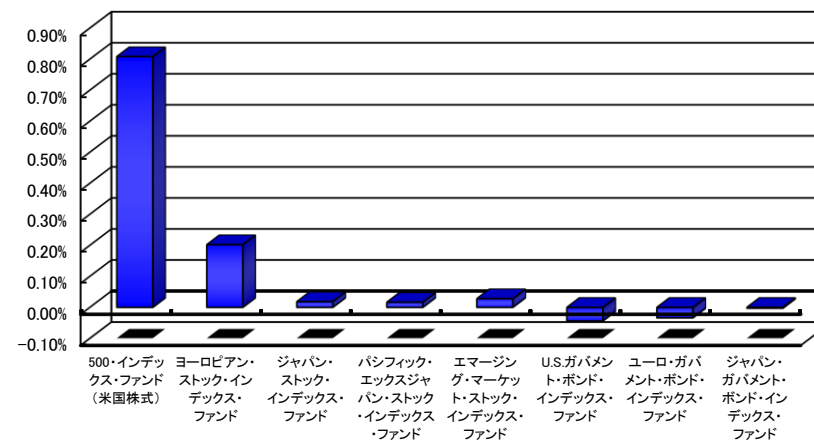
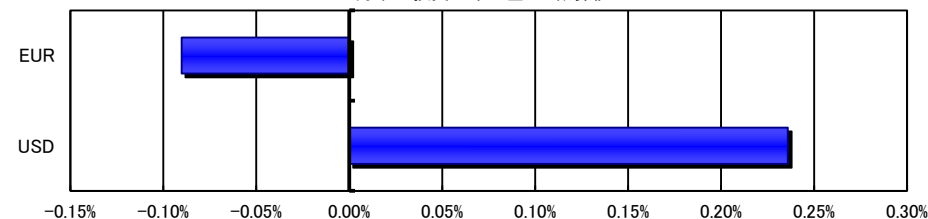


図2 8月度の為替変動による影響
※月末の投資比率に基づく概算値



※上記の表は、投資家の皆様へファンド基準価額の変動要因を簡潔に説明するため2021年8月31日現在の投資比率に基づき、ファンド及び為替レートの変動の影響を図示したものであり、実際の影響度合いとは異なります。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド 8 月度運用レポート

販売用資料
2021.9.3

I：ファンドの基準価額と純資産総額の推移

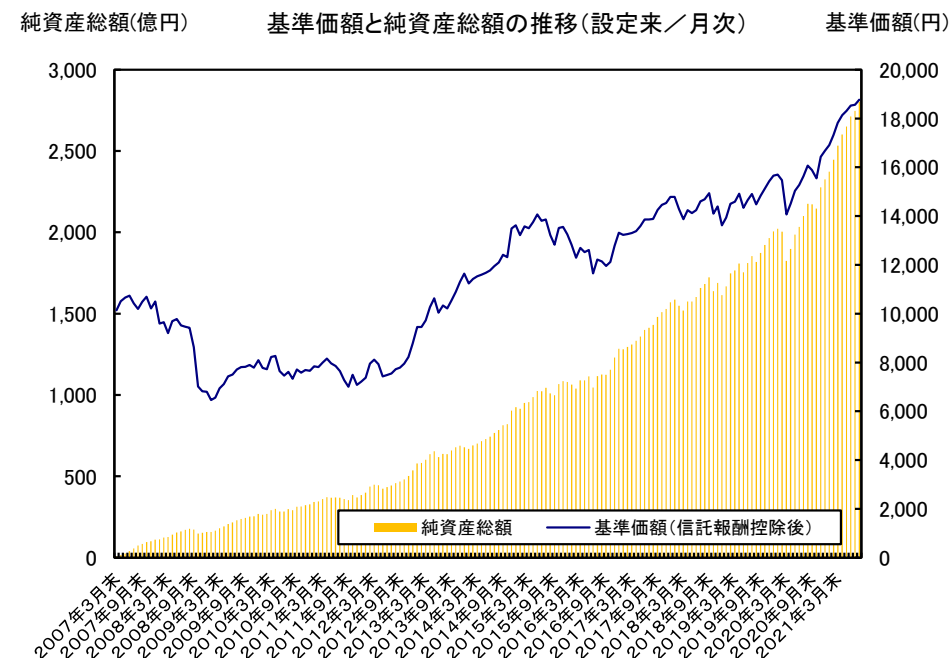
2021 年 8 月 31 日現在の基準価額と純資産総額及び騰落率

基準価額	18,764円
純資産総額	2,802.7億円
設定来騰落率	87.64%
過去1ヶ月間の騰落率	1.08%
過去6ヶ月間の騰落率	8.33%
過去1年間の騰落率	16.73%
過去3年間の騰落率	27.73%

*基準価額は信託報酬控除後の数値です。騰落率は小数点第 3 位を四捨五入しています。

基準価額のハイライト（設定から 2021 年 8 月 31 日まで）

	基準価額	日付
設定来安値	6,275	2009年1月26日
設定来高値	18,769	2021年8月13日



当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド 8 月度運用レポート

販売用資料
2021.9.3

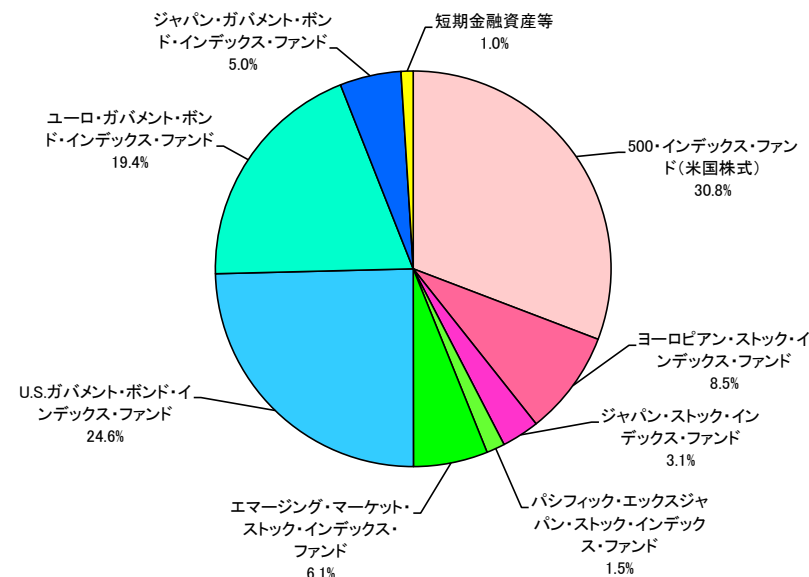
Ⅱ：ファンド資産の状況（2021 年 8 月 31 日現在）

投資先ファンド別資産配分状況

ファンド名称	比率
500・インデックス・ファンド（米国株式）	30.8%
ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	8.5%
ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	3.1%
パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	1.5%
エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	6.1%
U.S. ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	24.6%
ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	19.4%
ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	5.0%
短期金融資産等	1.0%
合計	100.0%

※資産配分状況は小数点第 2 位を四捨五入している為、合計が 100%にならない場合があります。

資産配分状況（2021年8月31日現在）



当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド 8 月度運用レポート

販売用資料
2021.9.3

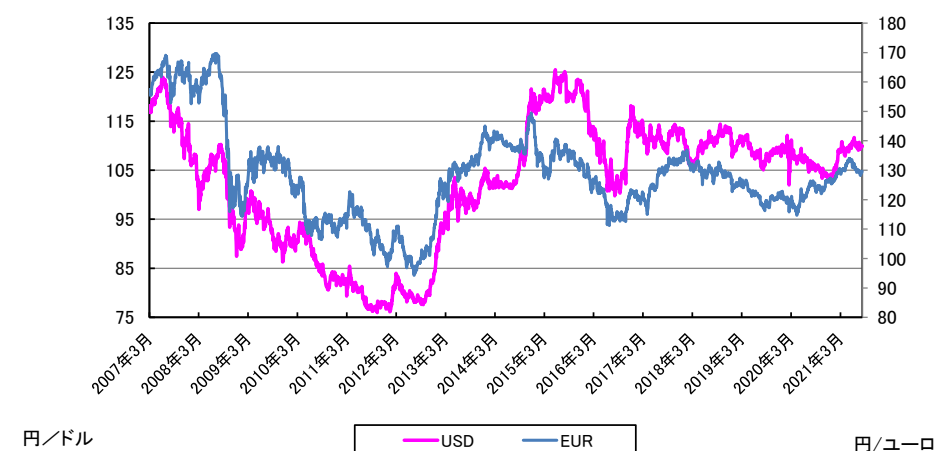
Ⅲ：為替レートの推移

設定時からの為替レート

日付	円／ドル	円／ユーロ
2007年3月15日	117.27	155.09
2007年12月28日	114.15	166.66
2008年12月30日	91.03	127.96
2009年12月30日	92.10	132.00
2010年12月30日	81.49	107.90
2011年12月30日	77.74	100.71
2012年12月28日	86.58	114.71
2013年12月30日	105.39	145.05
2014年12月30日	120.55	146.54
2015年12月30日	120.61	131.77
2016年12月30日	116.49	122.70
2017年12月29日	113.00	134.94
2018年12月28日	111.00	127.00
2019年12月30日	109.56	122.54
2020年12月30日	103.50	126.95
2021年1月29日	104.48	126.48
2021年2月26日	106.25	129.15
2021年3月31日	110.71	129.80
2021年4月30日	108.93	131.99
2021年5月31日	109.76	133.74
2021年6月30日	110.58	131.58
2021年7月30日	109.49	130.11
2021年8月31日	109.90	129.69
変化率（設定来）	-6.28%	-16.38%
変化率（8月度）	0.37%	-0.32%

※変化率はプラスが円安、マイナスが円高。小数点第3位を四捨五入

2007年3月15日から2021年8月31日までの為替レートの推移



※投資信託協会発表の評価用為替レートを使用して作成しています。

当ファンドは、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド 8 月度運用レポート

販売用資料
2021.9.3

Ⅳ：投資先ファンドの価格（円貨建て）

① 主に株式へ投資するファンドの値

ファンドへの組入れ開始日の値を 100 とした場合の 2021 年 8 月 31 日現在の値

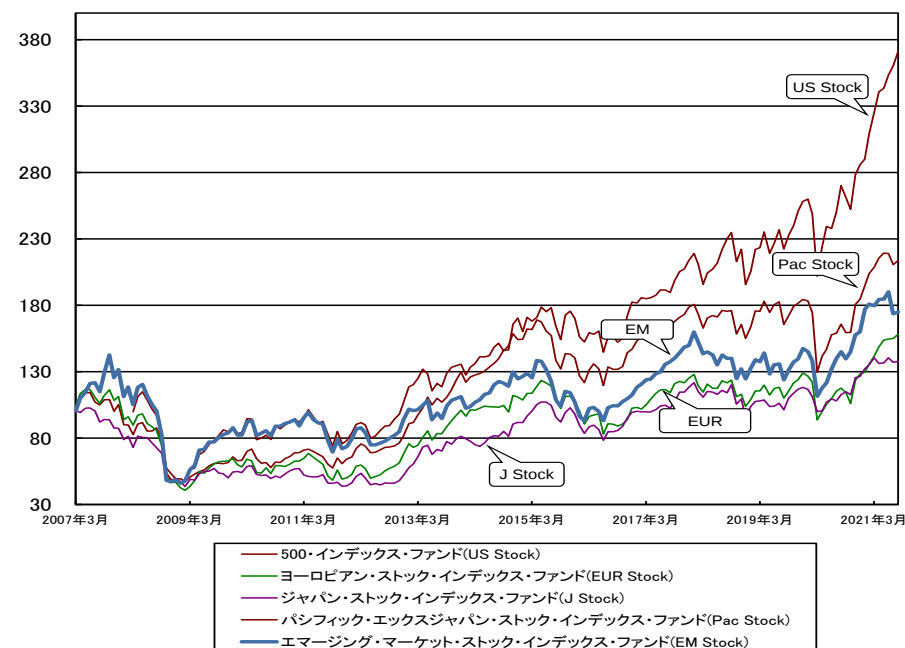
500・インデックス・ファンド（米国株式）	371.2
ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	158.2
ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	137.8
パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	213.7
エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	175.0

2021 年 7 月 30 日の値を 100 とした場合の 2021 年 8 月 31 日現在の値（8 月の動き）

500・インデックス・ファンド（米国株式）	103.0
ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	102.0
ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	100.6
パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	101.5
エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	100.8

※指数は小数点以下第 2 位を四捨五入

組入れ開始以来の投資先株式ファンドの値の推移（円貨建て）



エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド、ジャパン・ストック・インデックス・ファンドは 2007 年 3 月 23 日、パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンドは 2008 年 3 月 14 日、それ以外のファンドは 2007 年 3 月 19 日の値を 100 とし算出しています。（500・インデックス・ファンド（米国株式）の値は 2018 年 10 月 17 日までは U.S.500・ストック・インデックス・ファンドの値、2021 年 3 月 12 日まではインスティテューショナル・インデックス・ファンドの値です。なお、500・インデックス・ファンド、インスティテューショナル・インデックス・ファンドの値は、税引き後の分配金を全て再投資したものと算出しています。）価格が外貨建てのファンドは、投資信託協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算し、指数を算出しています。（日付は全て当ファンドでの評価日付です。）

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド 8 月度運用レポート

販売用資料
2021.9.3

② 主に債券へ投資するファンドの値

ファンドへの組入れ開始日の値を 100 とした場合の 2021 年 8 月 31 日現在の値

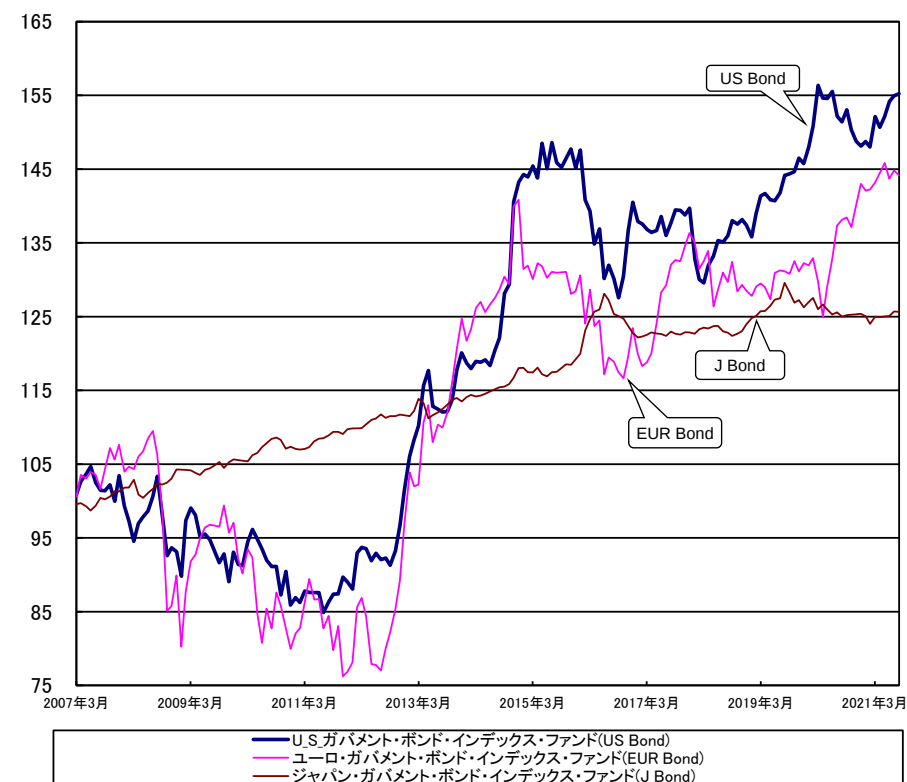
U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	155.2
ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	144.1
ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	125.6

2021 年 7 月 30 日の値を 100 とした場合の 2021 年 8 月 31 日現在の値（8 月の動き）

U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	100.2
ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	99.5
ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	99.9

※指数は小数点以下第 2 位を四捨五入

組入れ開始以来の投資先債券ファンドの値の推移（円貨建て）



ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンドは 2007 年 3 月 23 日、それ以外のファンドは 2007 年 3 月 19 日の値を 100 として算出しています。価格が外貨建てのファンドは、投資信託協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算し、指数を算出しています。（日付は全て当ファンドでの評価日付です。）

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。



セゾン投信

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド 8 月度運用レポート

販売用資料
2021.9.3

■ファンドの特色

① 幅広いリスク分散

世界 30 ヶ国以上の株式と 10 ヶ国以上の債券に分散投資。リスクを分散して安定的な成果が期待できます。

② 低コスト

購入時手数料ゼロ。購入時に余分なコストのかからないノーロードファンドです。長期の資産形成に特化することで、運営にかかる経費も抑えています。

③ バンガードのファンドに投資するファンド・オブ・ファンズ

バンガードは世界最大級の運用会社です。ローコスト・ハイクオリティで定評があり、投資家の利益を守るため、長期投資の重要性を訴え続けています。

④ 長期投資の為のファンド

長期のパフォーマンスを最優先するため、分配金は全て再投資します。

■投資方針

① 株式と債券の投資比率は、原則として 50 : 50 とします。

② 各地域の株式及び債券の時価総額（規模）を勘案し、投資先ファンドへの投資配分を決定いたします。配分比率は適宜見直しを行っていきます。

③ 原則として、為替ヘッジは行いません。

※資金動向、市場動向ならびに信託財産の規模等によっては上記の運用が出来ないこともあります。

■組入れファンドについて

① バンガード・インスティテューショナル・インデックス・ファンド

ファンドの目的：S&P500 インデックスに連動する運用成果を目指します。

② バンガード・500・インデックス・ファンド

ファンドの目的：S&P500 インデックスに連動する運用成果を目指します。

③ バンガード・U.S.500 ストック・インデックス・ファンド

ファンドの目的：S&P500 インデックスに連動する運用成果を目指します。

④ バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド

ファンドの目的：MSCI ヨーロッパ・インデックスに連動する運用成果を目指します。対象となる構成国はベルギー、デンマーク、フランス、フィンランド、ドイツ、イタリア、オランダ、スペイン、スウェーデン、スイス、英国等です。

⑤ バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド

ファンドの目的：MSCI ジャパン・インデックスに連動する運用成果を目指します。

⑥ バンガード・パシフィック・エクス・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド

ファンドの目的：MSCI パシフィック・エクス・ジャパン・インデックスに連動する運用成果を目指します。対象となる構成国／地域は日本を除くアジア太平洋地域の先進国／地域（オーストラリア、香港、ニュージーランド、シンガポール）です。

⑦ バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド

ファンドの目的：MSCI エマージング・マーケット・インデックスに連動する運用成果を目指します。対象となる構成国は欧州・アジア・アフリカ・ラテンアメリカ地域の新興市場国およびロシアです。

⑧ バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

ファンドの目的：ブルームバーグ米国政府債浮動調整インデックス（米国債および米国政府機関債（米ドル建て・残存期間 1 年超）の時価総額加重インデックス）に連動する運用成果を目指します。

⑨ バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

ファンドの目的：ブルームバーグ・ユーロ政府債浮動調整インデックス（ユーロ圏各国の発行する国債および政府機関債（ユーロ建て・残存期間 1 年超）の時価総額加重インデックス）に連動する運用成果を目指します。

⑩ バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

ファンドの目的：ブルームバーグ日本政府債浮動調整インデックス（日本国政府および政府機関が発行する投資適格債券（円建て・残存期間 1 年超）の時価総額加重インデックス）に連動する運用成果を目指します。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。



セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド 8 月度運用レポート

■お申込みメモ

- 購入単位：販売会社が定める単位とします。
- 購入価額：購入申込受付日の翌々営業日の基準価額
- 換金単位：1口単位 ※販売会社により1円単位でのお申込みとなる場合があります。詳細は販売会社までお問い合わせください。
- 換金価額：換金申込受付日の翌々営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
- 換金代金：原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から販売会社において支払います。
- 購入・換金申込日：原則として、毎営業日に申込みを受付けます。ただし、ニューヨークの証券取引所休業日、ニューヨーク、アイルランドの銀行休業日のいずれかに該当する日には受付を行いません。
- 申込締切時間：原則として、午後3時までに受付けた申込み（当該申込みの受付に係る販売会社所定の事務手続きが完了したもの）を当日の申込みとします。
- 信託期間：無期限（設定日：2007年3月15日）
- 繰上償還：以下の場合には、法令および信託約款に定める手続きにしたがい、受託会社と合意のうえ、ファンドを償還することがあります。
 - ・受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合。
 - ・信託期間中において、ファンドを償還させることが受益者のために有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したとき。
 このほか、監督官庁よりファンドの償還の命令を受けたとき、委託会社の登録の取消・解散・業務廃止のときは、原則としてファンドを償還させます。
- 決算日：毎年12月10日（休業日の場合は翌営業日）
- 収益分配：毎決算時（毎年12月10日の年1回。休業日の場合はその翌営業日。）に収益分配方針に基づき分配を行います。
 - ・委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。
 - ・当ファンドは、分配金再投資専用とします。収益分配金は、所得税、復興特別所得税および地方税を控除した後、再投資されます。
- 課税関係：課税上は、株式投資信託として取り扱われます。益金不算入制度、配当控除の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、「NISA」（少額投資非課税制度）および「ジュニア NISA」（未成年者少額投資非課税制度）の適用対象です。当ファンドは「つみたて NISA」（非課税累積投資契約に係る少額投資非課税制度）の適用対象です。

※詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。税法等が改正された場合には、上記内容が変更になる場合があります。

■当ファンドに係るリスクについて

◆基準価額の変動要因

当社の運用、販売するファンド（以下、当ファンド）はファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としております。一般に、株式の価格は、個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は、市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受けます。（「価格変動リスク」）また、当ファンドは、実質的に外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受けます。（「為替変動リスク」）その他の当ファンドにおける基準価額の変動要因としては、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により投資元本を割り込むことがあります。運用による損益は、すべてお客さまに帰属します。当ファンドは預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものではありません。

◆その他のご留意点

当ファンドは、預金や保険契約と異なり、預金保険機構、貯金保険機構、および保険契約者保護機構の保護対象ではありません。加えて証券会社を通じて購入していない場合には、投資者保護基金の対象となりません。投資信託の設定・運用は委託会社がおこないます。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド 8 月度運用レポート

販売用資料
2021.9.3

■当ファンドに係る費用について

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料：ありません。
- 信託財産留保額：換金申込受付日の翌々営業日の基準価額に 0.1% の率を乗じた額が控除されます。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理费用：ファンドの日々の純資産総額に年 0.506% (税抜 0.46%) の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的にお客さまにご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年 0.57%±0.02% 程度 (税込) となります。※ファンドが投資対象とする投資信託証券における信託報酬を加味した実質的な負担額の概算値です。各投資信託証券への投資比率、各投資信託証券の運用管理费用の料率の変更等により変動します。
- その他費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 (有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む)、監査報酬 (消費税含む)、立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことができません。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均、S&P500、S&P/ASX200 指数、S&P/BSE SENSEX インデックスは、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス (S&P DJI) の商品です。これらの指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、S&P DJI に帰属します。

S&P DJI は当指数等の情報に関し、その正確性・妥当性・完全性あるいは入手可能性を保証しません。また、S&P DJI は当指数等の情報の誤り、欠落についてその理由のいかんにかかわらず責任を負いません。また当指数等の使用による結果に対しても責任を負うものではありません。S&P DJI は当指数等の商品性あるいはその使用または特定の目的に対する適合性を含みますが、それに限定されるわけではなく、一切の明示的あるいは黙示的な保証を否認します。S&P DJI はファンドの受益者や他の人物等による当指数等の使用に関連したいかなる間接的、直接的な、特別なあるいは派生的な損害、費用、訴訟費用あるいは損失 (収入の損失、利益の損失、機会費用を含む) について一切の責任を負いません。

MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利は MSCI に帰属します。また、MSCI は指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

本文中のデータは、Bloomberg から取得しています。

「Bloomberg®」は、Bloomberg Finance L.P.、および同インデックスの管理者である Bloomberg Index Services Limited (以下「BISL」) をはじめとする関連会社 (以下、総称して「ブルームバーグ」) のサービスマークです。

ブルームバーグは、ブルームバーグ指数に対する一切の専有権を有しています。ブルームバーグは、このマテリアルを承認もしくは支持するものではなく、また、このマテリアルに含まれるいかなる情報の正確性もしくは完全性についても保証するものではなく、明示黙示を問わず、このマテリアルから得られる結果に関していかなる保証も行わず、また、法律上認められる最大限度において、ブルームバーグはこのマテリアルに関して生じるいかなる侵害または損害についても何らの責任も債務も負いません。

「Vanguard」(日本語での「バンガード」を含む) 商標は、The Vanguard Group, Inc. が有し、セゾン投信株式会社及び承認された販売会社にのみ使用許諾されたものです。

また「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」は、The Vanguard Group, Inc. 及び Vanguard Investments Japan Ltd より提供、保証又は販売されるものではなく、また投資に関する助言を受けていることを表すものでもありません。したがって、The Vanguard Group, Inc. 及び Vanguard Investments Japan Ltd は当ファンド・オプ・ファンズの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

委託会社：セゾン投信株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第 349 号
 加入協会：一般社団法人 投資信託協会
 お客さま窓口：03-3988-8668
 営業時間 9:00~17:00 (土日祝日、年末年始を除く)
<https://www.saison-am.co.jp/>

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書 (交付目論見書) の内容を必ずご確認ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。